

八学大・大谷学長退任へ

法人海外事業 社長に専念 後任は法官理事長

八戸学院大学(八戸市)の満了に伴い3月末で退任する大谷真樹学長(56)が任期

満了に伴い3月末で退任する大谷真樹学長(56)が任期



大谷 真樹氏



法官 新一氏

することが6日、同大を運営する学校法人光星学院への取材で分かった。大谷氏は法人が海外事業展開の軸として昨年12月に設立した子

会社「八戸学院グループ」の代表取締役社長に専念、法人には理事としてとどまる。後任の学長は法人理事長の法官新一氏(69)が兼ねる。同大短期大学の外崎充子学長(76)も同じく3月

末の任期満了に伴い退任、法官理事長が兼任する。法人が5日開いた理事会・評議員会で人事案を承認した。

法人は昨年、フィリピン

に高校や大学を開設する方針を発表。併せて同国などアジアの学生を日本の企業に紹介する教育人材サービス業といった海外事業を推進するため八戸学院グループを設立し、代表取締役会長に法官氏、同社長に大谷

氏が就任した。

法人側は今回の人事について取材に「(子会社の海外事業と学校教育は)法人発展の両輪」と説明。企業経営に詳しく海外事業展開を推進する大谷氏が事業に専念し、光星学院高校(現・八戸学院光星高校)校長など教育現場の経験が豊富な法官氏が学長を務める形で役割を明確化する目的としている。

(若松清巳)